

サンセットダイビングの見所！！

～ 5月28日 →19:00EX 6月25日 →19:30EX 7月30日 →19:00EX 8月27日 →18:30EX ～

《この時期の日没前は、オハグロペラの産卵や、ヤマドリの求愛を見ることができます》

★オハグロペラは「なわばり訪問型複婚」・・・ヨコバマ左コーナー

雌が雄のなわばりに産卵しにやってきます。

雌が雄のなわばりを訪問してもアプローチをするのは、やっぱり雄から。

なわばり内の代表的な岩の中層で体を水平に傾け、波打つように泳ぎます(ラテラルウエイブ・スイミング)。

雌がO. K. なら、ゆっくり浮上し、雄が雌の後頭部に顎をのせ、産卵の瞬間は素早く体を反転させます。

♪婚姻色の雄を探して、ラテラルウエイブ・スイミングが見られれば、産卵間近♪

★ヤマドリ・・・ヨコバマ右-5～6m転石(日本一の生息地帯！！)

雄のなわばりは5～10m四方で、雌を4～5匹守っていることが多く、雄は1日中、なわばりを巡回します。

夕方になると、なわばりを持たない雄が雌に求愛します。

求愛行動は、午後4時ごろから頻繁に行われ、雄が背びれを立て、雌の前に回り込み、体を震わせたり、雌に乗ったりします。

産卵直前になると、雄は胸鰭を雌の体の下に入れ、口をパクパクさせながら、ゆっくり30～150cm上昇し、最後に3～5秒かけて放卵放精します。

♪雄に注目。もし闘争していたら、勝者について行こう♪

★コウライトラギス

雄はなわばりを持ち、その中心には小さな岩があり、産卵時間が近づくと、この岩に乗り、他の雄が来ないように見張りを始めます。

近くには雌が3～5匹いて、産卵の準備が出来ると、ロデオのじゃじゃ馬がゆっくり飛び跳ねるようなジャンプをします。

やがてペアになり、ゆっくり5cmほど上昇した後、急上昇し、放卵放精して、急降下します。

♪産卵時間は午後5時半頃♪

★キンギョハナダイ

群れには10～30%の雄がいて、優位な雄(なわばり雄)は群れの上方にいます。

上方の雄が体を震わせながら急降下(Uスイミング)してアプローチ。

このアプローチを何度か繰り返した後、雌雄で上昇し、抱卵放精します。

♪Uスイミングしている雄に注目♪

↓↓↓ 日中は、こんな魚達が産卵しています ↓↓↓

☆クロホシイシモチなどテンジクダイの仲間(口内保育)

☆クマノミ(岩肌に産卵)

☆マツバスズメダイ(岩肌に産卵)

☆セダカスズメダイ(岩肌に産卵)

☆ソラスズメダイ(岩の裏に産卵)

☆ナガサキスズメダイ(岩の裏や海藻に産卵)

☆ホンソメワケベラ(ペア産卵)

☆オトヒメベラ

♪これらの魚がペアになったら注目♪

☆ニジギンポ(貝殻や空き缶に産卵)

☆クツワハゼ(岩の下に産卵)

☆コウベダルマガレイ(ペア産卵)

☆カワハギ(ペア産卵)

☆キタマクラ(海藻の陰で産卵)

☆ヘビギンポ(ペア産卵)

☆ホンベラ(グループ産卵・ペア産卵)

☆キュウセン(ペア産卵)

【参考図書】生態観察ガイド「伊豆の海水魚」著者：瓜生知史 海游舎刊